

令和4年3月14日

学校法人篠木学園桜ヶ丘幼稚園 園長 篠木喜世

学校法人篠木学園桜ヶ丘幼稚園

学校関係者評価委員会長 吉村 玲美

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

1 幼稚園の教育目標 「豊かな心と丈夫な身体」

2 本年度の重点目標

3歳児 基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守りながら友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

モンテッソーリのお仕事に興味を持ち、意欲的に取り組む。

色鉛筆、クレヨンを正しく持つことができるようになる。園生活に慣れ、保育者や友だちに親しみをもち楽しく遊ぶ。

モンテッソーリのお仕事に興味を持って取り組む

4歳児 日常生活に必要な習慣や態度を身につけ、自ら進んで行動する。

友だちとのかかわりの中で様々な経験し、友だちの思いに気付く。

様々な行事や活動に期待を持ち、友だちと協力しながら取り組む楽しさを味わう。

箸を正しく持ち、使えるようになる。

5歳児 自分の経験したことや考えたことを話したり、保育者や友だちの言葉や話などをよく聞いたりする中で、伝え合う喜びを味わう。

友だちとのかかわりを通し、同じ目的に向かって協力し助け合いながら、一緒にやり遂げた喜びや達成感を味わう。

鉛筆や箸を正しく持ち、食事のマナーを守ることや美しい文字を書くことを意識する。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は、A (十分に成果があった)・B (成果があった)・C (少し成果があった)、D (成果がなかった)の数値で表すこと。)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
保育の計画性	新教育指導要領に沿った保育カリキュラムか。評価と検証がきちんとされているか	A	・令和3年度は休園もなく4月からほぼ計画通りに保育が出来た。自分のクラスや学年だけではなく、異年齢の発達も見据えた指導を心掛けていきたい。2年続けてプールが出来なかったのは残念。	A	・様々な活動を通して「自律」が身につけているのは良いと思う。動と静の区別をつけることは、家庭では難しいので期待している。 ・健康な心と体が育まれるよう、来年度はプールができると良い。今年度も中止や縮小になる行事があったので次年度は通常のカリキュラムになるよう期待している。
保育の在り方、幼児への対応	・子どもたちへの日常生活習慣や安全管理の教育がしっかりできているか	A	・本年度はパステルでの健康チェックも保護者に浸透し、園児や保護者が日常的に健康に関心を持つ土壌が出来てきていた。大きなけがもなく、一人一人の特性に合った関わりを持つように過ごした。これからも子どもたちの手本になるよう自分自身の言動も磨いていきたい。	A	・園での先生の対応を見て、子ども一人ひとりに向き合っただけで対応していると感じ感動することがあった。 ・桜ヶ丘幼稚園の先生は褒め上手な先生が多いと思うが、今後もより一層、自己肯定感を高められるような指導を期待している。安全管理は、活動しやすい環境がしっかりできていると感じた。
保育者としての資質や能力・良識、適正	専門家としてのスキルアップと自覚について	A	・園内研修を充実させると共に、教諭一人一人のスキルアップを図っている。箸の持ち方や鉛筆の持ち方、言葉遣いなど、幼児期の子どもたちに接する教諭として、より一層自分を磨いていきたい。モンテッソーリ教育の勉強をもっとしていきたい。発達支援の子が増えたので、要支援の子どものための勉強会に積極的に参加していきたい。園全体で子どもたちの情報共有が定着してきている。	A	・他の教職員と連携がとれているので、とても丁寧に子どもたちを見て下さっている。それゆえに小学校の先生との温度差をととても感じている。 ・一部の先生に負担が集中していると感じるので、それが分散されると良いと思う。 ・先生方が非常に熱心に教材研究や指導法の勉強をしていることは、幼児教育の質の向上に繋がっていると感じている。

<p>研修と研究</p>	<p>研修や勉強会に積極的に参加し、スキルアップを図っているか</p>	<p>B</p>	<p>・今年も園外研修の中止やリモートでの開催が多かった。その分園内の環境整備に時間が取れたり、園内研修を充実させることが出来た。しかしリモートは研修に参加しやすいが、実際に会っての研修も次年度は期待したい。</p> <p>・免許の上新については、今後もすすめていきたい。</p>	<p>B</p>	<p>・モンテの専任講師がいることで先生方の負担も減り、より充実した保育の時間を確保できるのではと考えられる。外国人の英語教師がいることで、異文化理解の機会が出来るのではないかと思う。</p> <p>・先生方が上級免許の取得や専門資格の取得に積極的なのは、大変良いことだと感じる。</p>
--------------	-------------------------------------	----------	--	----------	--

4 今後取り組むべき課題

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>	
<p>今後も担任を持たない教諭を増やし、担任を持つ教諭が研修に参加したり他の教諭の保育を見学できる環境を整備したりする</p>	<p>①</p>	<p>令和3年度は資格取得支援制度を利用して、複数名がこの制度を利用したので次年度もさらに利用を推進したい。</p>
	<p>②</p>	<p>令和4年度は先生方でモンテッソーリ指導者の資格取得の勉強を始める先生が増えるので、幼稚園教諭の更なるレベルアップを図っていきたい。1種免許への上新を今後も積極的に推し進めていきたい。</p>
	<p>③</p>	<p>英語講師については、日本人の子どもたちの感性や心情を的確に英語にしてくれる講師の方が、語学習得の効果が出ることを丁寧に保護者に伝えるようにしたい。また、異文化交流の機会を持てるよう外国人の方が園児と接してその違いを体感する機会を積極的に増やしていきたい。</p> <p>モンテッソーリ講師については、当園のモンテッソーリカリキュラムが、「集団におけるモンテッソーリ教育」という文部科学省の幼児教育指導要領を遂行するために工夫された特色あるものであることを理解して尽力してくれる講師を探していくようにしたい。それと共に教職員全員が園内研修を通して技量向上を図ると共に、資格支援制度を利用してモンテッソーリ教育指導員の資格取得者を増やすよう推進していきたい。</p>
<p>要支援要員を増員して、一人一人のニーズに応えた保育をしていく</p>	<p>①</p>	<p>要支援の子供が増えている。要支援だけでなく、どんな子も丁寧に目の行き届いた温かい保育をしていく。</p>
	<p>②</p>	<p>令和3年度に引き続き、非常勤職員も積極的に研修参加や資格取得を促していく。</p>
<p>女性のライフサイクルに合った職場環境の提供をしていく</p>	<p>①</p>	<p>今後とも産休育休に入りやすい環境整備を心掛けていくとともに、処遇改善を推進していきたい。令和元年度からは、産休・育休の取得率100%で推移している。働き続け易い環境の整備を今後も推し進めていくようにする。</p>